

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00141)

事務事業名称		まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	150	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	146		
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和49年度													
	平成28年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民			根拠法令等	(1)	老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項		(2)	杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用し、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようにする。			活動指標	指標名(1)		ふれあい入浴年間延べ利用者数		指標説明		指標名(2)		まちの湯健康事業年間延べ参加者数	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ふれあい入浴：毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。 。まちの湯健康事業：月1~2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。実施後、参加者は100円で入浴できる。長寿応援ポイント対象事業。			成果指標	指標名(1)		ふれあい入浴1回当たりの利用者数		指標説明		指標名(2)		年間延べ参加者数÷実施回数	
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	78,628	84,000	77,008	80,000	74,845	78,000	93.6					
	活動指標(2)	2	人	4,819	5,400	4,866	5,400	4,503	5,000	83.4					
	成果指標(1)	3	人	64.3	70	64.4	70	65.1	70	93.0					
	成果指標(2)	4	人	17.7	18	17.7	18	16.2	17	90.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	46,137	49,293	45,618	47,608	44,273	44,459	平成28年度予算執行率(%)	93.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	46,083	49,186	45,568	47,501	44,185	44,390						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,643	2,643	2,624	2,624	2,569	2,569					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	48,780	51,936	48,242	50,232	46,842	47,028						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	620	618	626	628	626	603						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	3,400	4,380	4,380	4,380	0	4,380					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,400	4,380	4,380	4,380	0	4,380						
差引：一般財源(14-20)		21	千円	45,380	47,556	43,862	45,852	46,842	42,648						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	150	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		ふれあい入浴の実施		1,150	回	37,260
		まちの湯健康事業の実施		277	回	6,925
	その他（ポスター・チラシ作成費ほか）				88	
(2) 事業実績	<p>ふれあい入浴：28年度は7月から実施浴場23か所のうち1か所休業となり、延べ利用者は2163人減少しましたが、1回あたりの利用者数は約1人近くの増となりました。          まちの湯健康事業：実施浴場数は1か所減少しましたが、実施回数はあまり変わりませんでした（平成27年度 274件）。</p>					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の公衆浴場数は、昭和49年度111か所 平成23年度30か所 平成28年度23か所(うち1か所休業中)と減少しています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちがいいので利用している。」          「一人暮らしの高齢者同士が銭湯で、互いに健康の確認をしあい、世間話をするのが楽しみになっている。」          「通院日と重なり、指定の曜日・時間帯に行くことができない。」といった声が寄せられています。          まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」          「参加者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>区内の公衆浴場数はさらに減少する可能性があります。          ふれあい入浴は、実施浴場数が減少し、利用が集中して混雑が予測されます。          まちの湯健康事業は、浴場改修等により、会場が確保できる浴場も増えると予測されます。</p>				
	評価と課題	<p>ふれあい入浴は、浴場減少による問題点を検証していきます。          まちの湯健康事業は、参加者がリピーターとなり、複数か所に参加している講座があります。リピーター以外の高齢者が参加できるよう事業の周知の工夫をしていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ふれあい入浴は実施浴場数の減少による影響等、各浴場の実態を把握しながら安全確保の検討・改善を進めていきます。          まちの湯健康事業は、長寿応援ポイント事業対象であり、多くの方が参加できるようにわかりやすく周知します。</p>					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00142)

事務事業名称		風呂っと杉並			款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	151	
現担当課名		高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	147		
上位施策No・施策名										13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成13年度													
	平成28年度担当課名	高齢者施策課											事業評価区分	一般	
	対象	60歳以上の区民 (平成26年度より、対象年齢を「50歳以上」から「60歳以上」に変更)			根拠法令等	(1)		杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱							
						(2)		杉並区風呂っと杉並事業補助金補助基準							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	公衆浴場を、健康増進や生きがいを目的とした60歳以上の高齢者の自主グループに開放することで、高齢者の活動・交流を推進していく。			活動指標	指標名(1)		風呂っと杉並事業を実施する浴場数							
					指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区内の公衆浴場を60歳以上4名以上のグループに有料(利用料は浴場によって異なる)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業(杉並浴場組合自主事業)に要する経費について、運営費を助成する。			成果指標	指標名(1)		1所当たりの1か月の利用者数								
					指標名(2)		利用者数÷浴場数÷12か月								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 所	9	9	9	10	9	10	90.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 人	17.0	17	20.0	17	20.0	19	117.6						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,143	3,545	3,478	3,545	3,413	3,545	平成28年度 予算執行率(%)	96.3					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,762	1,762	1,749	1,749	1,712	1,712						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	4,905	5,307	5,227	5,294	5,125	5,257							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	545,000	589,667	580,778	529,400	569,444	525,700							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	1,571	1,772	1,760	1,772	0	1,772						
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,571	1,772	1,760	1,772	0	1,772							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	3,334	3,535	3,467	3,522	5,125	3,485							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	151
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂っと杉並運営費補助	9	所	3,413
		その他( )			
	(2) 事業実績	28年度は、9浴場で風呂っと杉並事業を実施し、全回数は348回でした。各浴場で毎月平均3～4回の利用があり、内容は健康体操・手芸・マージャン等です。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区内の公衆浴場数：昭和49年度111か所 平成24年度28か所 平成28年度23か所 事業を実施浴場数：平成13年度9か所 平成24年度9か所 平成28年度9か所			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	利用者からは、「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」など評価を頂いています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	実施浴場への登録団体の固定化から新規団体の利用は受け入れが難しくなっています。			
	評価と課題	高齢者が主体的に活動するために、身近な地域で集まれる場所が必要です。利用者団体が固定しており、新規の団体を受け入れらるよう検討します。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	事業の目的を踏まえ、浴場開放の実態を浴場組合と協議し事業のあり方を見直します。			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00143)

事務事業名称			いきいきクラブの支援				款	04	項	01	目	02	事業	012	整理番号	152
現担当課名			高齢者施策課				係名			いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	148
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和33年度	実行計画事業			目標	04	施策	13	計画事業		01				
	平成28年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会				根拠法令等	(1)		老人福祉法第4条、第13条第2項							
							(2)		杉並区いきいきクラブ助成要綱							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化を推進し、会員増加を支援する。				活動指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入者数							
						指標説明										
						指標名(2)										
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数に応じて、助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。				成果指標	指標名(1)		いきいきクラブ加入率								
						指標説明		いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口(当該年度4月1日現在)								
						指標名(2)		1か月の社会奉仕活動回数(クラブ当たり)								
						指標説明		社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 人	5,612	5,800	5,557	5,600	5,500	5,500	98.2							
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3 %	3.9	4.1	3.9	3.9	3.8	3.9	97.4							
	成果指標(2)	4 回	13.6	14	12.0	12	11.3	12	94.2							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	24,060	26,164	23,610	24,491	23,175	24,385	平成28年度 予算執行率(%)	94.6						
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	11	12	12	20	20	20								
	職員数	常勤職員数	8 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.50							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,810	8,810	8,747	8,747	8,562	12,843							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費	14 千円	32,870	34,974	32,357	33,238	31,737	37,228								
	単位当たりコスト	15 円	5,857	6,030	5,823	5,935	5,770	6,769								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	2,722	2,822	2,530	2,669	2,524	2,635							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計		20 千円	2,722	2,822	2,530	2,669	2,524	2,635								
差引:一般財源		21 千円	30,148	32,152	29,827	30,569	29,213	34,593								
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	152	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		いきいきクラブ助成(いきいきクラブ連合会・各いきいきクラブ)		68	団体	22,650
		福祉大会・都市交流等事業		1	団体	500
		その他(旅費の支給、連絡用郵券ほか)				25
	(2) 事業実績	<p>いきいきクラブ(67クラブ)が、社会奉仕活動や友愛活動(9,123回)、健康増進活動(8,154回)、いきがい活動(8,907回)を実施しました。</p> <p>いきいきクラブ連合会及び地区連合会(10地区)で、福祉大会7回(連合会1回、6地区6回)、スポーツ大会6回(1連合会6回)、健康づくり教室8回(1連合会1回、7地区7回)、東吾妻町とのグラウンドゴルフ大会による交流懇談会等を実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和33年度、3クラブで開始し、平成5年度に会員数のピーク(12,071人)、平成10年度にクラブ数のピーク(100クラブ)となりました。</li> <li>平成21年度：81クラブ、会員数6,778人</li> <li>国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正</li> <li>平成26年度：70クラブ、会員数5,612人 平成27年度：68クラブ、会員数5,557人</li> <li>平成28年度：67クラブ、会員数5,500人</li> <li>高齢者人口は年々増加していますが、新規加入者より退会者が多くクラブ数及び会員数は年々減少しています。</li> </ul>				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>会員からは、「生きがい活動を楽しんでいる」という声や、「健康づくり教室で低栄養について学んだことにより、食の大切さをあらためて認識した」という意見などがあります。一方、会員の高齢化がすすみ、「活動が一部の会員だけになってしまい残念だ」という話も聞かれます。</p> <p>また、高齢の役員からは、「区やいきいきクラブ連合会への提出書類の作成が困難になってきているが、後継者がなく困っている」といった声もあります。</p>				
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>会員の高齢化に伴い活動が縮小されるクラブや、後継者不足により廃止となるクラブがあると予測できます。平成29年4月現在66クラブとなり、平均年齢は79.6歳です。</p> <p>今後も新規加入者が伸びないことにより、会員数は減少傾向が続き、高齢化すると思われます。</p>				
評価と課題		<p>いきいきクラブは、社会奉仕活動や健康増進活動、いきがい活動を通じて、高齢者の社会参加に一定の成果をあげてきました。しかし、高齢者にとって老人クラブ以外にも多種多様な選択肢が広がっている現在、老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向となっています。</p> <p>会員の減少を食い止めるには、単に会員同士のいきがい活動だけでなく、ボランティアや友愛活動など地域の支えあいにつながる活動や、会員以外も参加できる行事を企画し、いきいきクラブの魅力を地域の高齢者に発信していきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)			
翌年度予算の方向性の理由・内容		<p>高齢者が、地域の中で様々な活動を通して生きがいを感じ、地域とのつながりや高齢者同士の支えあいを実感することで充実した日々を送り、地域包括ケアを実現するために、地域の互助組織であるいきいきクラブの存在は必要不可欠です。</p> <p>会員の減少や高齢化は進んでいますが、長年続いている活動を助け合いながら継続しているクラブや、仲間づくりのため新たな活動を始めるクラブを今後も支援していきます。</p> <p>また、後継者が見つからないまま役員が高齢化しているクラブの中で、大きな負担となっている会計処理や区への提出物の作成について適切な指導や助言を行なうことにより、クラブが廃止とならないよう、支援していきます。</p>				



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	153	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		シルバー人材センター運営助成			158,231
		シルバー人材センター運用資金貸付			5,000
		その他（負担金の支出ほか）			50
	(2) 事業実績	<p>シルバー人材センターの事業実績は、実契約件数7,985件、事業収入899,103千円です。実契約件数の内訳は、有料自転車駐車場管理等の公共事業134件、民間企業の事業761件、独自事業35件、一般家庭の事業7,055件です。</p> <p>地域貢献活動としては、「シルバー孫の手」事業で115件のボランティア活動を行なったほか、地域住民との交流を目的とした「ひざこぞうトーク」、青梅街道清掃ボランティア、公開講座の開催も継続して実施しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の総人口に占める60歳以上の区民の割合                      昭和54年：8.6%                      平成28年4月：26.0%</p> <p>シルバー人材センターの会員数                      昭和54年度末：1,280人              平成24年度末：3,084人              平成27年度末：2,780人                      平成28年度末：2,772人</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>自転車駐車場やゆうゆう館等の施設利用者を対象に行なった「公共施設アンケート調査」、清掃、植木剪定、襖・障子の張り替え等の利用料の請求書に同封した「お客様満足度調査」とも良好な評価の回答を多く得ています。</p> <p>一方、公共施設での職員の対応・接客に対する苦情や、一般家庭での施行内容に関する苦情も若干寄せられることがあります。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>会員数については、定年後の継続雇用の拡大に伴う新規入会者の伸び悩みや、加齢や病気を理由とする退会者の増加傾向が続くと思われませんが、会員募集チラシの配布を始めとした会員増強活動を継続していくことにより、増加が見込めます。</p> <p>平成28年度は会員減も一段落し、今後は住宅地域であり、子育て世代も増加しているという地域性から、家庭・育児サービス分野の需要は高まるものと思われま。</p>			
	評価と課題	<p>登録会員数は、平成24年度を境に減少傾向が続いていましたが、会員募集チラシを区内全域に配布したことにより入会者が増加し、ほぼ昨年度同様の会員数を維持することができました。</p> <p>今後は、増加が見込まれる家庭・育児サービスの受注拡大のために、女性会員の増強や研修の実施を支援していきます。</p> <p>「シルバー孫の手」事業については、開始から5年めとなりましたが、実績は伸び悩んでおり、PR方法や事業の流れ全体を見直し、利用しやすいボランティア活動となるよう支援していきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>社会参加に意欲がある高齢者が、地域社会との連携のなかで就業や社会奉仕等の活動を行なっていくうえでシルバー人材センターの果たす役割は大きく、区は、引き続きシルバー人材センターを支援していきます。</p> <p>平成28年度に実施された杉並区外部評価委員会による評価結果を踏まえ、法人の自立性強化のため、経営改善、超過勤務の削減、運用資金貸付金の見直しなど、着実な事業運営のための体制構築に向けて、区とシルバー人材センターが一体となって取り組んでいきます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00145)

事務事業名称		高齢者いきがい活動支援				款	04	項	01	目	02	事業	014	整理番号	154	
現担当課名		高齢者施策課				係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	150		
上位施策No・施策名											13	高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度	実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 01													
	平成28年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者				根拠法令等	(1)	老人福祉法第4条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。				活動指標	指標名(1)	支援対象の地域活動団体数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域のNPO法人・団体等が行う高齢者のいきがい、健康づくり、パソコン教室等の講座の開催を支援する。 地域で役に立ちたい高齢者を社会貢献スタッフとして登録、講師活動を実施する。 杉の樹大学をNPO法人に委託し運営する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。				指標名(2)	高齢者の就職成立件数									
		成果指標	指標名(1)	杉並区後援の地域貢献事業の開催回数												
		指標説明	指標名(2)	社会貢献スタッフ年間延べ派遣人数												
		指標説明														
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	団体	12	12	11	12	10	8	83.3						
	活動指標(2)	2	回	23	25	24	25	20	25	80.0						
	成果指標(1)	3	回	159	160	153	160	130	120	81.3						
	成果指標(2)	4	人	1,294	1,300	1,373	1,300	1,145	1,200	88.1						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,202	6,543	6,332	6,493	6,457	12,051	平成28年度 予算執行率(%)	99.4					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	6,172	6,187	6,182	6,435	6,427	11,994							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.80	0.70	0.70	0.80	1.10	1.10						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,048	6,167	6,123	6,998	9,418	9,418						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	294	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	13,250	12,710	12,455	13,785	15,875	21,469							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	1,104,167	1,059,167	1,132,273	1,148,750	1,587,500	2,683,625							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	3,100	3,231	3,126	3,258	0	3,242						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,100	3,231	3,126	3,258	0	3,242							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	10,150	9,479	9,329	10,527	15,875	18,227							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	154
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	杉の樹大学運営委託	1	所	3,600
		高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,818
	(2) 事業実績	その他（研修会講師謝礼ほか）			
		<p>杉の樹大学事業は、本科年間32講座（受講生40名）、専科4講座各3回（受講生94名）、公開講座1回（70名）を実施しました。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業は、個別相談22回（延べ58名）実施、職業能力アップ講座等31回（延べ431名参加）開催しました。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてめぐい体操、健康エアロビクス）は、ゆうゆう館の自主グループ・協働事業、まちの湯健康事業等で継続実施しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区の高齢化率（65歳以上の総人口に占める割合）は、昭和50年7.4%、平成元年11.4%、平成20年18.7%、平成24年19.8%、平成29年4月21.0%と増加しています。</p> <p>杉の樹大学事業は、昭和59年に開始しました。平成15年からNPO法人に事業委託し、平成24年度からは公募型プロポーザル方式により事業者を選定の上、運営を委託しています。28年度から新しい事業者が選定されています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>杉の樹大学は、「新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評で、「もう1年通いたい」という要望もあります。</p> <p>社会貢献スタッフの講師活動（主にてめぐい体操、健康エアロビクス）は、需要も高く、利用者にも好評です。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業で開催している各種講座の中では、パソコン講座など就業に直接役立つ講座に、特に人気が集まっています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢化率の進展に伴い、生涯現役で充実した人生を過ごしたいと考える高齢者も増加するものと予測できます。</p> <p>高齢者が、就業や学習、いきがい活動を通じて地域の中でいきいきと過ごすための事業への期待は、さらに高まっていく見込みです。</p>			
評価と課題		<p>杉の樹大学は、1年間の継続した学びの中で、自己啓発と地域での仲間づくりを目的としています。</p> <p>今後も時代の変化とともに、講座内容等企画を工夫していきます。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業においては、平成26年度から年1回実施していた「合同就職面接会」を年2回実施しました。就職先の決定した方も複数あり、参加者からは好評でした。より多数の高齢者が参加し就職できるよう、事業の周知方法についての検討と、参加企業数を増やせるよう、企業の協力を求めていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
翌年度予算の方向性の理由・内容		<p>杉の樹大学における、学びを通じての自己啓発と地域での仲間づくりにより、高齢者が地域社会に積極的に関わっていきけるような企画・講座づくりを実施していきます。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業では、元気高齢者の就労意欲に応えるため、平成29年度から、福祉施設等での就労体験を行なう「元気高齢者地域活躍推進事業」を実施します。この事業による活動就労後、実際に福祉施設等への就職ができる人材の育成を目指して研修や実習を行ないます。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00162)

事務事業名称			ゆうゆう館の運営				款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	170		
現担当課名			高齢者施策課				係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号	167		
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和38年度															
	平成28年度担当課名		高齢者施策課				事業評価区分		一般									
	対象		60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO法人等の協働事業実施団体				根拠法令等		(1)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
									(2)		老人福祉法							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		NPO法人等との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を行う。				活動指標		指標名(1)		協働事業実施回数							
								指標説明		協働事業年間参加者数								
								指標名(2)		協働事業年間参加者数								
								指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。				成果指標		指標名(1)		ゆうゆう館部屋稼働率								
								指標説明		使用した回数÷使用可能枠数								
								指標名(2)		協働事業参加者の満足度								
								指標説明		(大いに満足+満足)÷参加者数 利用者アンケート結果より								
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度									
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)									
指標	活動指標(1)	1	回	9,798	9,900	10,345	10,000	10,921	10,500	109.2								
	活動指標(2)	2	人	110,653	111,000	114,924	115,000	118,381	117,000	102.9								
	成果指標(1)	3	%	44.0	45	48.0	48	50.0	50	104.2								
	成果指標(2)	4	%	90.5	90	95.4	90	95.4	90	106.0								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	246,859	265,862	259,110	263,318	262,013	263,203	平成28年度予算執行率(%)	99.5							
	(内)投資的経費等	6	千円	4,679	3,564	3,123	4,212	4,077	3,664	特記事項								
	(内)委託費	7	千円	241,762	259,867	254,662	257,897	257,086	258,546									
	職員数	常勤職員数	8	人	2.06	2.04	2.04	1.80	2.02	1.68								
		再任用職員数	9	人	0.52	0.70	0.33	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人	0.70	0.80	0.60	0.80	0.80	0.80								
	人件費	常勤職員分	11	千円	18,149	17,972	17,844	15,745	17,295	14,384								
		再任用職員分	12	千円	2,106	2,835	1,366	0	0	0								
		非常勤職員分	13	千円	1,981	2,264	1,761	2,348	2,377	2,377								
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	269,095	288,933	280,081	281,411	281,685	279,964									
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	26,987	28,825	26,772	27,720	25,420	26,314									
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等	18	千円	2,638	2,532	2,532	2,698	2,698	2,291								
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,638	2,532	2,532	2,698	2,698	2,291									
差引:一般財源(14-20)		21	千円	266,457	286,401	277,549	278,713	278,987	277,673									
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	170
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		ゆうゆう館受付等業務委託（うち協働事業館32館）	32	館	257,085
		協働事業館支援事業（備品・消耗品購入）	4	館	4,746
		ゆうゆう館評価委員会及び選定委員会開催	5	回	182
	その他（ ）				
(2) 事業実績	<p>32館で年間10,921回の協働事業が行われ、延べ11万8千人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数も延べ450,252人に達し、ともに年々利用者が増加しています。実施団体の評価は、平成23年度にゆうゆう館協働事業を開始した4団体を対象に、評価委員会を2回開催して実施しました。また、平成28年度末で協定期間が満了となる2館を対象に、協働事業実施団体を募集しました。3団体から応募があり、選定委員会を3回開催して2団体を選定しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館（うち協働事業館9館）で行っていました。平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>館の管理運営は順調に行われており、受託団体の接客姿勢についてもアンケートの意見や、直接、利用者からも満足との評価を得ています。また、利用者のニーズに合わせた内容を取り入れるなど協働事業を幅広く行うことにより、利用者数は増加傾向にあります。その一方で、従来からゆうゆう館を利用していただいていた高齢者団体等からは、希望する日時での自主活動がやりづらくなったなどの苦情も寄せられています。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢人口の増加に伴い、高齢者の活動の場としてのゆうゆう館の必要性は今後も大きくなると考えられます。杉並区立施設再編整備計画では、ゆうゆう館は多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めることとなっています。再編後もゆうゆう館の機能と役割は継承することになるので、これまでと同様に高齢者が身近な地域で気軽に集えるように、高齢者のニーズを把握した事業や各館の特性を活かした事業の企画を進めていくことが求められます。継続的で安定したゆうゆう館の運営ができるように、区は運営団体の評価及び選定を通して、指導や支援を行う必要があります。</p>			
評価と課題	<p>現在、ゆうゆう館全館において協働事業の実施と協働事業者による管理運営を行っており、高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の拠点となっています。このことが果たす役割の大きさを認識しつつ、地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう運営を行うことが課題です。また、杉並区立施設再編整備計画では、平成31年度から地域コミュニティ施設への転用・再編整備を進めていく計画となっており、平成29年度はゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し、モデル的な取組を行いながら検討を進めることとなります。継承するゆうゆう館の機能と役割について十分に検討を行い、将来的な施設運営の方法を具体化します。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成29年度はゆうゆう馬橋館、下高井戸館が移転し、地域コミュニティ施設のモデルとなる取組を進めます。平成30年度は、この取組で得られた結果について、杉並区立施設再編整備計画第二次実施プランに、身近な地域で高齢者が集まることができるようゆうゆう館の機能と役割について、検討、精査し、高齢者が今までと同様に利用できるよう計画内容に反映していきます。</p>				

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00163)

事務事業名称		三療サービス				款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	171	
現担当課名		高齢者施策課				係名	いきがい活動支援係				連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	168		
上位施策No・施策名											13	高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和48年度														
	平成28年度担当課名	高齢者施策課										事業評価区分	一般			
	対象	60歳以上の区民				根拠法令等	(1)		杉並区三療サービス事業実施要綱							
							(2)									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにする。				活動指標	指標名(1)		三療サービス利用者数							
						指標説明		ゆうゆう館でのサービス利用人数								
						指標名(2)										
						指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が同協議会に再委託して実施する。				成果指標	指標名(1)		利用率								
						指標説明		利用者数÷(当該年度4月1日付け)60歳以上の区民								
						指標名(2)										
						指標説明										
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	人	5,039	5,760	5,133	5,760	5,284	5,760	91.7						
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3	%	3.5	4.0	3.6	4.0	3.7	4.0	92.5						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,372	12,736	12,274	12,735	12,109	12,869	平成28年度予算執行率(%)	95.1					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	11,919	12,368	11,907	12,367	11,824	12,496							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.32	0.30	0.30	0.10	0.10	0.10						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.25	0.80	0.90	0.90						
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,819	2,643	2,624	875	856	856						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	734	2,348	2,674	2,674						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	15,191	15,379	15,632	15,958	15,639	16,399							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	3,015	2,670	3,045	2,770	2,960	2,847							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	6,185	6,380	6,368	6,366	0	6,433						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	6,185	6,380	6,368	6,366	0	6,433							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	9,006	8,999	9,264	9,592	15,639	9,966							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	171
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		三療サービス(ゆうゆう館)事業委託	5,284	人	10,488
		その他(消耗品購入ほか)			1,621
	(2) 事業実績	<p>ゆうゆう館32館を利用し、月40回、年間480回実施しています。平成28年度の実績5,284人中、女性が3,844人(72.7%)です。はりとマッサージは希望制ですが、4,706人(89.1%)がマッサージを希望しています。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>ゆうゆう館 平成24年度4,931人 平成25年度5,036人 平成26年度5,039人 平成27年度5,133人 平成28年度5,284とゆるやかに増加しています。 高齢者活動支援センター 平成23年度平成24年度3,127人 平成25年度3,453人 平成26年度3,531人 平成27年度3,560人 平成28年度3,518人と同水準の利用者を確保しています。 高齢者活動支援センターは平成24年5月以降は指定管理者制度に移行し、事業予算は指定管理料から支出することとなりました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月当たり1回しか受けられないので、利用者からは利用できる回数を増やしてほしいとの要望が毎年あります。 また、施術者の接遇に関して、苦情が年間数件寄せられます。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>利用者も施術者も高齢化が進んでいるため、体調などの健康管理面に注視する必要があります。区の施設整備再編計画によるゆうゆう館の地域コミュニティー施設への転換により三療サービスのあり方を検討する可能性があります。 利用者の固定化の傾向がみられ、より多くの方に利用していただくためホームページやゆうゆう館での周知に一層の取組が必要になります。 施術者による格差・意識の違いもあるため技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援する必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>利用者には好評な施術ですが、より多くの方に利用していただくため、ホームページやゆうゆう館での周知に一層取り組んでいきます。 施術者による格差・意識の違いもあるため、技術力の向上を支援するとともに、接遇力の向上も支援していきます。 三療サービスによる健康保持・向上の関心を高め、介護予防につなげていきます。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>ホームページの掲載や、館ごとのPRを行います。また、三療サービスの利用者自ら健康保持・向上を意識し関心を高めるよう、介護予防事業の普及啓発を実施して高齢者の健康増進を目指します。施術者の技術向上、接遇改善のため、協議会が実施する技術・接客向上の研修会を支援します。衛生面の改善を課題として検討しているため、消毒液の正しい使い方の徹底を行うと共に、タオルケット、布団等の使用方法について、29年度、30年度に見直しを進めていきます。また、布団等の使用方法変更に伴う、洗濯料の軽減も検討します。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00164)

事務事業名称 敬老事業			款 04	項 01	目 02	事業 035	整理番号 172			
現担当課名 高齢者施策課		係名 いきがい活動支援係			連絡先電話番号 1165	昨年度整理番号 169				
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度								
	平成28年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分	一般				
	対象	75歳以上の高齢者 75歳、81歳、100歳以上の高齢者		根拠法令等 (1) (2)	老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 杉並区敬老事業実施要綱					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	敬老会参加者数  祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(75歳、81歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつには区長が訪問し、直接贈呈を行う。		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	敬老会来場率 来場者÷対象者数 祝い品交換率 交換者÷対象者数					
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画(目標値) 実績		平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 人	3,857	5,000	4,153	5,000	5,171	5,500	103.4	
	活動指標(2)	2 人	8,212	8,900	8,688	9,290	9,205	6,540	99.1	
	成果指標(1)	3 %	6.6	8.4	7.0	8.5	8.5	8.7	100.0	
	成果指標(2)	4 %	98.6	100	95.6	100	98.8	100	98.8	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	32,009	33,207	32,041	36,486	35,072	35,469	平成28年度 予算執行率(%) 96.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	10,037	8,465	8,234	10,150	10,127	11,715		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.90	1.80	1.85	1.80	1.80	2.10	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,739	15,858	16,182	15,745	15,412	17,980	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	294	0	0	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	48,748	49,065	48,223	52,525	50,484	53,449		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	12,639	9,813	11,612	10,505	9,763	9,718		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	6,353	5,904	5,434	6,783	0	7,581	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	6,353	5,904	5,434	6,783	0	7,581		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	42,395	43,161	42,789	45,742	50,484	45,868		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	172	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		敬老会開催		5,171	人	13,195
		敬老祝い品贈呈		9,205	人	21,396
		その他（ ）				481
	(2) 事業実績	75歳以上の高齢者を対象に、第67回杉並区敬老会を9月6、7日の2日間計6回開催しました。内容は式典と演奏（日本フィル交響楽団弦楽合奏団）を行いました。敬老祝い品は75歳81歳の方にカタログギフトによる祝い品を贈り、100歳以上の方にカタログギフト、肌着セット、音声拡聴器から1点選択していただく形で祝い品を贈りました。さらに、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し長寿を祝い、花束の贈呈をしました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	対象である75歳以上人口はこの事業が開始された昭和27年の約3,000人と現在の60,624人（平成28年6月15日現在）を比較すると約20倍になり、あらためて超高齢化社会を裏付けるものとなっています。また高齢者の嗜好も時代とともに変化し、多様化してきております。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	杉並区敬老会は、かつて演歌歌手のショーを中心に開催してきましたが、ここ数年、参加者からはクラシック、ポップス、演芸など多様なジャンルへの要望も寄せられるようになったため、幅広い嗜好に対応しております。敬老祝い品のカタログギフトは、個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多くあります。少数ですが、祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金、寄付を希望する声もあります。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	75歳以上の対象者は年々増加し、平成28年度から29年度にかけて対象者の1,500人増が見込まれ、安全のために29年度の敬老会は今までの公演回数6回から2回増の全8回で行う予定です。75歳以上の対象者は今後も増加が見込まれます。敬老祝い品の対象年齢が平成29年度より、75・81歳から81・90歳に変更されたため対象者の減少が予想されます。				
	評価と課題	平成28年度の敬老会は、日本フィル交響楽団弦楽合奏団の演奏で初めてクラシック音楽を実施しましたが、大変好評で再演を望む声が多くありました。参加者の一名（90歳代）が転倒し、負傷されたこともあり、参加者増を踏まえ、運営における安全面を強化します。将来的には、増え続ける対象者を考慮し、対象を75歳を迎えられた方などに限定するなど、今後の敬老会の在り方について検討します。敬老祝い品（75歳・81歳）の内容については、交換率もよく好評です。区民の方からの意見を反映し、カタログ選定の際には、寄付商品が掲載されているものを指定しています。100歳以上の祝い品に関しては、毎年お祝いしてもらえることに、感謝の言葉が多く寄せられています。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し				
翌年度予算の方向性の理由・内容	敬老会は対象者増を見込み、平成29年度より前年から2回増の全8回公演で行います。設営、開催準備や案内、誘導等の運営については、平成29年度から企画とともに業務委託します。平成30年度もこれにより平成28年度まで依頼していた他課からの応援要員を削減できると見込みます。高齢者人口のさらなる増加を見越し、敬老事業全体の見直しも視野に入れながら、従来通りの事業形態ではない選択肢についても検討します。					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00165)

事務事業名称 長寿応援ポイント事業			款 04	項 01	目 02	事業 036	整理番号 173		
現担当課名 高齢者施策課		係名 長寿応援ポイント担当係			連絡先電話番号 1166	昨年度整理番号 170			
上位施策No・施策名 13 高齢者の社会参加の支援						予算事業区分 既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成21年度	実行計画事業 目標 04 施策 13 計画事業 02			主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
	平成28年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分 一般			
	対象	地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民			根拠法令等 (1) (2)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営懇談会開催要綱			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の外出を促し、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図る。さらにその活動が社会参加につながり、地域包括ケアの取組の中で、お互いや地域の人々の「支えあい」が進展することを目指す。			活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	活動登録グループ件数(累計)  ポイント交換者数			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。ためたポイントは、地域貢献活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付および区内共通商品券の交換に充てる。 円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営懇談会を設置する。 業務は民間事業者への委託により行う。			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	65歳以上の高齢者でいきがいを感じている人の割合 区民意向調査による			
区分		単位	平成26年度 実績	平成27年度 計画 実績		平成28年度 計画 (目標値) 実績	平成29年度 計画	平成28年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 件	1,327	1,470	1,411	1,570 1,451	1,670	92.4	
	活動指標(2)	2 人	6,977	7,500	7,206	8,500 7,644	9,500	89.9	
	成果指標(1)	3 %	78.6	87	84.0	87 79.0	87	90.8	
	成果指標(2)	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	78,940	84,475	84,352	91,860 91,643	97,313	平成28年度 予算執行率(%) 99.8	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0 0	0	特記事項 高齢者のいきがい活動を促進するため、より適切な指標となるよう、成果指標の見直しを行い、これまでの「週2回以上外出している高齢者の割合」から、「65歳以上の高齢者でいきがいを感じている人の割合」に変更した。	
	(内)委託費	7 千円	34,843	35,043	35,043	35,830 35,819	41,652		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.90	1.40	1.50	1.50 1.40		1.40
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00 0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,739	12,334	13,121	13,121 11,987		11,987
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0 0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0 0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	95,679	96,809	97,473	104,981 103,630	109,300		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	72,102	65,856	69,081	66,867 71,420	65,449		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0 0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0 0		0
		都からの補助金等	18 千円	19,337	19,316	19,460	19,316 0		19,400
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0 0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	19,337	19,316	19,460	19,316 0	19,400		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	76,342	77,493	78,013	85,665 103,630	89,900		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0 0.0	0.0			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		173	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		長寿応援ポイント事業業務委託			
		長寿応援ポイント事業運営懇談会等	21	回	582
		普及啓発（事業紹介冊子、ポイントシール印刷ほか）			2,160
		その他（商品券の購入ほか）			53,081
平成28年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>平成28年度末の登録活動数は1,451件で、平成27年度末の1,411件から2.8%の増加となりました。平成28年度は事業紹介冊子を作成し、各ゆうゆう館や保健センターに配布することで、様々な活動の紹介と事業の周知を行いました。また、区役所1階ロビーで事業紹介展示を行いました。長寿応援ファンドを活用し、高齢者の健康づくりや、誰もが住みやすいまちづくりを進める活動として、8活動（平成27年度は7活動）に助成を行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成29年4月現在では118,001人まで増加しています。 平成28年度区民意向調査によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は9.8%で、前年度を下回りましたが、趣味のサークルやクラブ活動、社会貢献活動を行っている高齢者は、68.5%となっていて前年度を上回っています。生活にいきがいを感じている高齢者は79.0%です。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をしていただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。 長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、「事業参加者同士のつながりができ、地域の中で支えあふ関係が構築できた」「交流の幅を広げることで、若者が新しい知識を身につけ、自分を見つける良い機会となった」等の実施結果が報告されました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>杉並区の高齢化率は21%程度で推移していくことが予測されています。 高齢者が地域に出て自らの知識や経験を活かし、地域貢献活動などを行いながら、地域社会の様々な世代の人達と支えあい、いきいきと生活していく社会を目指して事業を進めていきます。</p>			
評価と課題		<p>長寿応援ポイント事業登録活動数は、平成21年度の事業開始以来増加を続けており、多様な地域活動が行われています。 今後は、利用実態を調査し、ポイント交換の仕組みやPR方法の見直しを中心に、より分かりやすく、効果的な事業となるよう、検討していきます。 長寿応援ファンドを活用し、地域に貢献する公益的な活動や、いろいろな世代を支援する活動に対して助成することで、お互いが支えあふ社会の実現を目指します。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢者がボランティアや健康づくりなどの活動に参加することにより、自らが元気になるとともに、お互いが支えあふ地域づくりを進めます。 長寿応援ポイント事業参加者の実態調査の結果を踏まえ、ポイント交換の仕組み等について、検討・見直しを行います。</p>			

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00225)

事務事業名称			高齢者活動支援センターの維持管理				款	04	項	01	目	06	事業	012	整理番号	235		
現担当課名			高齢者施策課		係名		施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号		233			
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和58年度															
	平成28年度担当課名		高齢者施策課								事業評価区分		一般					
	対象		60歳以上の区民及び高齢者活動団体、60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場)				根拠法令等		(1)		老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7							
									(2)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役の地域拠点として社会参加の拡充を図る。高齢者の自主的団体活動を支援し、新たな生きがい作りや仲間作りを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図る。				活動指標		指標名(1)		高齢者活動支援センター登録団体数							
										指標説明		団体利用回数						
										指標名(2)								
										指標説明								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターの運営を指定管理者により行う。60歳以上の区民の福祉増進を図るため、各種相談や健康増進、教養の向上及びレクリエーション活動の支援を目的に設置した高齢者活動支援センターの施設維持管理を行う。高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を管理・運営する。				成果指標		指標名(1)		高齢者活動支援センター利用率								
										指標説明		講座室等利用回数÷利用可能枠数						
										指標名(2)		ゲートボール場利用率						
										指標説明		利用回数÷利用可能枠数						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度									
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)									
指標	活動指標(1)		1	団体	75	80	77	80	77	80	96.3							
	活動指標(2)		2	回	2,206	2,200	2,403	2,500	2,507	2,600	100.3							
	成果指標(1)		3	%	71.9	75.0	79.8	80.0	82.1	85.0	102.6							
	成果指標(2)		4	%	47.0	50.0	52.5	60.0	56.4	60.0	94.0							
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	70,762	71,361	71,357	70,967	70,932	72,259	平成28年度予算執行率(%)	100.0						
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	70,384	71,225	71,224	70,781	70,779	72,157								
	職員数	常勤職員数		8	人	0.43	0.41	0.41	0.40	0.45	0.32							
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	3,788	3,612	3,586	3,499	3,853	2,740							
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	74,550	74,973	74,943	74,466	74,785	74,999								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	994,000	937,163	973,286	930,825	971,234	937,488								
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	74,550	74,973	74,943	74,466	74,785	74,999									
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号	235		
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	運営管理（指定管理者）			70,475
		建物管理委託			33
		物品リース			55
		ゲートボール場清掃等委託			273
		その他（製版印刷機消耗品の購入ほか）			96
(2) 事業実績	<p>高齢者活動支援センター利用者が使用できるように電位治療器のリース及び保守管理を行いました。また、製版印刷機に係る消耗品を購入しました。</p> <p>高齢者ゲートボール場の利用者が快適に使用できるように便所清掃や樹木剪定等ゲートボール場の維持管理を行いました。また、ゲートボール場を利用する団体の抽選会を実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。その後、増加に転じ、平成24年度は21団体が登録していましたが、平成25年度から年々減少し平成28年度は16団体となっています。</p> <p>高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後の平成24年5月からは運営をより効果的かつ効率的に行い、利用者がより一層利用しやすい施設とするため指定管理者制度を導入しました。また、高齢者活動支援センターには多目的室と3講座室がありますが、平成26年度から講座室の1室をシルバー人材センターの分室に活用し、平成28年度にははつらつルームを保育室に転用しています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>高齢者活動支援センターを利用する高齢者団体から行政が多目的室・講座室を使用する頻度に対する意見が寄せられました。ほかには、趣味の部屋にあるビリヤードを使用するにあたり初めての利用者には使用しづらい、治療器コーナーにあるマッサージ機を使用するにあたり利用者のモラルが問われる等の声もありました。</p> <p>高齢者ゲートボール場を利用する団体からは、グラウンド整備及び蚊対策に対する要望が寄せられました。</p>			
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>高齢者ゲートボール場登録団体数は、ゲートボール人口の増加要因が当面見当たらないことから、今後もゆるやかな減少傾向は継続すると考えられます。</p> <p>高齢者活動支援センターの使用状況は、第3講座室が平成28年度にシルバー人材センター分室を廃止し返還されたことから利用可能枠数が増えるものの、はつらつルームを利用していた事業や他施設を利用していた行政による使用の増加も見込まれることから稼働率は高水準を保つと思われま。</p>			
評価と課題	<p>高齢者活動支援センターは指定管理者による管理に変更になってから5年が経過し、平成28年度は指定管理期間満了に伴う次期指定管理者の公募を実施しました。区と指定管理者との役割分担も行われており、指定管理者が地域の代表などで組織する「地域懇談会」を実施し意見交換を行うなど施設の円滑な運営に取り組んでいることから、これからも区と指定管理者の連携を継続し、高齢者が安全に活動できるよう運営を行います。また、講座室の稼働状況も平均82%となっており、特に多目的室は90%を超える状況で稼働しています。高齢者団体の使用が半数を占め、高齢者のいきがい活動の支援に寄与しています。</p> <p>高齢者ゲートボール場の管理については、利用団体が管理する範囲の明確化を行っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者ゲートボール場については、一部の利用者に限られその利用者においても減少傾向にあるものの、有効な土地活用が見出せるまでは高齢者の健康維持を目的に当該施設を開放し利用普及に努めたいと考えます。</p> <p>高齢者活動支援センターでは、利用者の意見に基づく利用方法の改善など指定管理者と検討を行っていきます。</p>			



# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	236	
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費		32	館	30,175
		施設保守管理委託		32	館	20,758
		消耗品購入、修繕、家屋等修繕		32	館	11,001
		物品・機器リース		32	館	862
	その他(電話料金、物品保守委託、負担金の支出ほか)					3,089
事業環境の変化	(2) 事業実績		ゆうゆう館の利用者が、安全かつ快適に施設の利用ができるように、施設修繕、施設保守管理委託などを行うとともに、老朽化した物品の買い替え及び不足している物品を購入しました。			
	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測					
評価と課題		ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。築40年以上のゆうゆう館が半数を占めていることから、老朽化に伴い必要な修繕が増えてきています。同様に老朽化した設備を計画的に更新していく必要はあるものの、規模が大きなものについては滞りがちとなっています。今後も優先して行うべき、建物並びに設備の小修繕を精査しながら、安全で利用しやすい環境を維持していきます。その一つとして、和式便所を洋式便所に取り換える修繕を段階的に進めていきます。 また、杉並区立施設再編整備計画の進捗状況も確認しながら、建て替え予定と重複しないよう修繕や物品購入などを実施します。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性				
		II 事業の改善の方向性				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方					

# 平成29年度杉並区事務事業評価表(1)

(00235)

事務事業名称			ゆうゆう下高井戸館の整備				款	04	項	01	目	07	事業	026	整理番号	246
現担当課名			高齢者施策課				係名	施設担当係				連絡先電話番号	1153	昨年度整理番号		
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援		予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成25年度														
	平成28年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	施設維持管理									
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者				根拠法令等	(1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例								
							(2)	老人福祉法								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区立施設再編整備計画に基づき、下高井戸児童館を改修し、現在高井戸第三小学校の敷地内の暫定施設で開館しているゆうゆう下高井戸館を移転させ、併設施設として開館する。				活動指標		実施設計の進行状況								
					指標名(1)											
					指標説明											
					指標名(2)											
					指標説明											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標											
	平成28年度中に再移転先の建物の実施設計を完了し改修工事の契約を行う。設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。				指標名(1)											
					指標説明											
					指標名(2)											
					指標説明											
区分	単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度							
		実績	計画	実績	計画	計画(目標値)	実績				計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	%	100	0	0	100	100	0	100.0						
	活動指標(2)	2														
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	28,900	0	0	38,417	33,492	50,283	平成28年度 予算執行率(%)	87.2					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	38,417	33,492	50,283	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	27,736	0	0	38,417	33,492	50,023	執行率が87.2%の理由は、エレベーター設置場所変更により、測量が不要になったことと改修工事の落差金が生じたためです。						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.24	0.00	0.00	0.00	0.31	0.40	平成28年度に実施設計をして、平成29年度当初から工事に着工するため、平成27年度には事業がなかったため100%増となっています。					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	2,114	0	0	0	2,654	3,425						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	31,014	0	0	38,417	36,146	53,708							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	310,140	0	0	0	26,540	0	また、平成28年度補正予算第6号において債務負担を設定し、平成29年度までの改修工事費総額197,000,000円(内高齢者施策課分81,274,853円)、工事監理委託費総額2,075,760円(内高齢者施策課分1,090,270円)となっています。						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)	21	千円	31,014	0	0	38,417	36,146	53,708								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	246		
平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)	
		実施設計					3,829
		改修工事					29,663
	その他( )						
(2) 事業実績		再移転先の建物の実施設計及び改修工事の契約締結を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化						
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測						
評価と課題		<p>平成29年4月に着工できるように、平成28年度中に改修の基本設計・実施設計を行いました。2階にある児童クラブの育成室をゆうゆう館として活用するためエレベーターを新設します。階段の昇降が厳しい高齢者等への配慮として好評を得ることになると思われます。</p> <p>今までの暫定施設では、土足使用でしたが、再び上履き対応になることへの利用者の理解を得ていきます。また、直営の児童館と委託のゆうゆう館との共存のあり方が課題となるため、今後、所管課と協議していきます。</p> <p>児童館との出入口の共有という施設構造から、児童と高齢者の動線など安全面の配慮を特に注意して運営していきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性					
		II 事業の改善の方向性					
今後の進め方							

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（1）

（00684）

事務事業名称			ゆうゆう馬橋館の整備			款	04	項	01	目	07	事業	029	整理番号	248		
現担当課名			高齢者施策課			係名	いきがい活動支援係			施設担当	連絡先電話番号	1153	昨年度整理番号	243			
上位施策No・施策名											13 高齢者の社会参加の支援			予算事業区分	投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成28年度															
	平成28年度担当課名	高齢者施策課									事業評価区分		施設維持管理				
	対象	60歳以上の区民、高齢者団体、協働事業参加者			根拠法令等		(1)		(2)		杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 老人福祉法						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	高齢者の生涯現役を応援する地域拠点としてのゆうゆう館と集会施設を複合した新施設を建設する。休館期間を極力短くするために、高齢者の活動の場を提供する。			活動指標		指標名（1）		指標説明		新築工事の進行状況						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	平成28年7月～平成29年7月まで建設工事を行う。地域住民及び利用者との意見交換に努める。仮施設の解体設計を行う。			成果指標		指標名（1）		指標説明		指標名（2） 指標説明						
区分		単位	平成26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度	平成28年度								
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）								
指標	活動指標（1）	1	%		50	50	50	50	100	100.0							
	活動指標（2）	2	%														
	成果指標（1）	3															
	成果指標（2）	4															
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円		32,310	29,230	91,149	88,333	130,638	平成28年度 予算執行率（%）	96.9						
	（内）投資的経費等	6	千円				91,149	88,333	0	特記事項							
	（内）委託費	7	千円		32,220	29,162	88,764	87,196	125,710	平成27年度は旧高円寺保健センターの解体を行うための予算で、平成28年度から平成29年度は新設する馬橋複合施設の基本設計・実施設計、改修工事費等となるため予算規模が大きく変更になりました。							
	職員数	常勤職員数	8	人		0.45	0.45	0.32	0.36	0.40	また、平成28年度から平成29年度に債務負担を行い総額316,728,360円（内高齢者施策課分160,049,438円）となっています。						
		再任用職員数	9	人				0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円		3,965	3,936	2,799	3,082	3,425							
		再任用職員分	12	千円				0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円				0	0	0							
	総事業費	14	千円		36,275	33,166	93,948	91,415	134,063								
	単位当たりコスト	15	円		725,500	663,320	55,980	61,640	1,340,630								
	財源	受益者負担分	16	千円				0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円				0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円				0	0	0							
その他の補助金等		19	千円				0	0	0								
特定財源計		20	千円				0	0	0								
差引：一般財源		21	千円		36,275	33,166	93,948	91,415	134,063								
受益者負担比率	22	%				0.0	0.0	0.0									

# 平成29年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 248

平成28年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		新築工事			81,930
		仮設ゆうゆう馬橋館の整備			5,893
		解体設計			510
		その他（ ）			
(2) 事業実績	ゆうゆう館と集会施設を複合した施設の新築工事と仮設ゆうゆう馬橋館の整備を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

**評価と課題**

ゆうゆう馬橋館の新築工事期間中に、利用者が活動できる場を確保したことについて、利用者から満足の声が上がっています。また、新設する複合施設では、今までの施設の2部屋から3部屋へと増えることにより、団体活動の場をより多く提供することが出来るようになり、利用者の利便性は向上します。今後、乳幼児を含む子どもから高齢者まで、多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備に向け、モデルとなる取組を検討することや、ゆうゆう館の機能と役割の継承について検討し、定義していくことが課題のため、関係課と協議を進めていきます。

また、新しいゆうゆう馬橋館は区民集会所と併設のため、1階にできるラウンジは、誰でも出入りが自由な施設となっています。そのため安全面に特に注意して運営していきます。

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		